

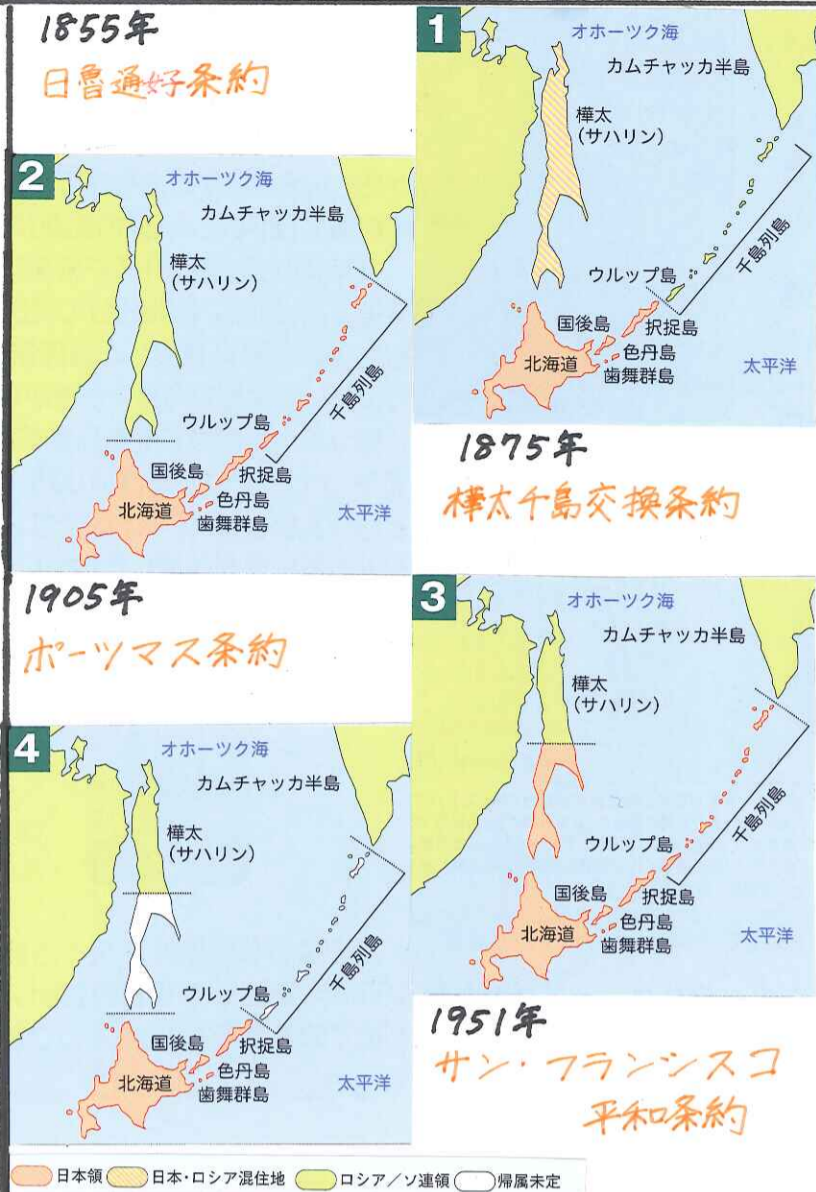
領土問題の未来

島根県立
松江市第一中学校

北方領土問題とは

ニュースでよく聞く「北方領土問題」という言葉。みなさんはどのような問題かよく理解しているのか。

北方領土とは、北海道本島の北東洋上に位置する、**歯舞群島**、**色丹島**、**国後島**、**択捉島**の四島のことである。北方領土は、もともと日本がみつけて、多くの日本人が渡航し、住んでいた地域である。しかし、一九四五年に日本がポツダム宣言を受諾した後、ソ連が占領し、四島に住んでいた日本人を強制退去させた。そして今日に至るまで、ソ連、ロシアによる法的根拠のない占領が続いており、北方領土問題が存在するため日露間では、いまだに平和条約が締結されていない。



北方領土に住む ロシア人との交流

私は驚いたことがある。それは、日本と北方領土に住むロシア人が交流していることである。ロシアと日本は北方領土の問題があるのであまり仲良くないと思っていたが、青少年を中心とした交流が行われていることが分かった。さかんに交流は行われているようだが、やはりロシア人は自分たちの住む島は渡せないという考えが多いようだ。しかし、これから交流を重ね、互いに理解してほしい。



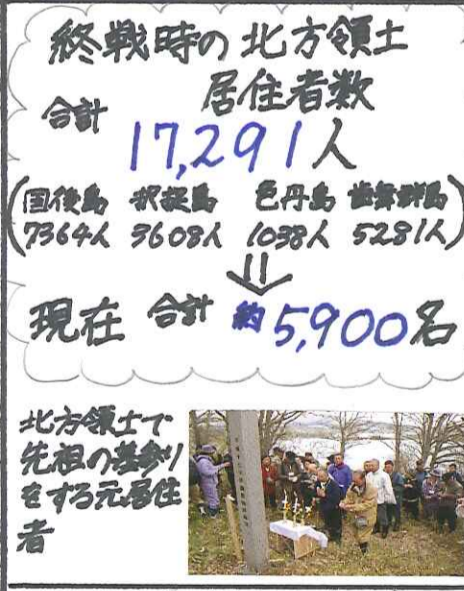
四島での住民交流会



「色々な交流」が行われているよ。

北方領土の今後は...

現在、元島民の方々の高齢化が進んでおり、平均年齢は八十四歳となっている。島のことをよく知る人が減少しているのがあるが、島に帰りたくて戻る人も減っており、送還運動の活力がなくなるのが心配される。そして、北方領土送還に心のない若者が増えている。しかし、送還に向けて様々な活動を行っている若者もいる。様々な活動とは、根室市の高校生らによる署名運動、出前講座、ロシアの青少年との交流、ロシア人の学校訪問、三世交代交流会、地元中学生との交流、北方領土問題についてのラジオ放送である。このように、返還に向けて活動を行う若者もいるので、その輪を広げていくことが重要になる。もし、送還されたとしても島に住むロシア人のことや、島におふれかえるゴミのことなど、まだまだ皆さんの問題が残るといっても考えられないといけない。



北方領土で先祖の墓参りする元居住者



自分の意見・感想

私の住んでいる島根県も竹島という領土問題を抱えています。北方領土と少し似ている問題ですが、竹島は韓国が不法占拠している状態です。しかも活動も北方領土問題まで活発に行われていません。ですが、北方領土問題については様々な活動が行われており、交流もあります。私は左上の図にあるように、占領されるまでは一度も日本以外の領土になたことのない北方領土は日本の領土と主張できると思います。この問題を解決するには若者の力が重要なので、何かとたくさん若者を知ってもらえるように私も活動していきたいです。そして、元島民の人々が少しでも早く島に戻れるように、国民が一丸となり活動できればいいと思います。私はこの研修中に署名の紙をみつけたので初めて署名をしました。この署名をしている人々の気持ちや、少しでも伝えたいなと思ったり、日本は島国ということもあり、三ヶ所が領土をめぐる問題を抱えているので、これより早く平和に解決されることを願っています。私も北方領土についても竹島についても、多くの人に伝えていきます。